

&TOKYOを使っている企業へのヒアリング結果について

&TOKYOを商品やPRに使用している3社にヒアリングを実施

使い勝手について

- &TOKYOは、東京と何かが一体となってアピールするということで、気軽に使えた。使う側のハードルを下げた取組だと思う。(B社)
- &TOKYOは、マークとして使いやすい。形もシンプルで、色が5色あるのも、周りの色合いに合ったものを使えて良い。(C社)
- T o k y o T o k y oは文字が多いので、小さくすると見えにくくなる。(C社)

使い分けについて

- 2つのシンボルに分散すると力が弱くなる。一つで良いと思っていた。(A社、B社)
- T o k y o T o k y oは東京のブランドロゴとして、I♥NYと全く同じ位置付けで使えば良い。商品や単独でのPRに使い、あぶれるもの、使いにくい部分を&TOKYOで補ってはどうか。(A社)
- &TOKYOは、コミュニケーション的な、一緒に関わってブランドイメージを作り上げることに効果的(A社)

今後について

- &TOKYOの方が歴史も長く、認知度も高いため、なくなるのは勿体ない。(A社)
- &TOKYOを使っている商品は、2020大会を目前にすると売れるかもしれないので、なくなってしまうのは不便。(B社)
- 一本化した方が合理的だと思う。どちらが絶対というこだわりはない。(C社)